

福岡女大家政

○早瀬仁美

李 小吟

村上祥子

井上厚美

＜目 的＞ 料理を一定の基準で分類、登録し、料理コード表と食品コード表を利用して、大量のデータから目的の料理を検索する、献立作成支援システムの開発を試みたので報告する。

＜方 法＞ PC-9801RA(640KB)と40MBハードディスクを用い、画像作成ツール CT/WINDOWと検索ツール CT/ISAMを利用して、Turbo C ver.2によりプログラミングを行った。食品ファイルには先に報告した4桁コードの1161食品、24栄養成分を用い、栄養価計算と食品からの検索に利用する。料理データファイルにはコード・名・単位・使用食品と重量・栄養価・食品群別重量・検食用食品コード等を登録し、種々の検索に応じられるようにする。

＜結 果＞ システムの機能は料理登録と料理検索が主で、メニューや献立を作成し、一覧表示をする機能を加えた。登録画面で料理名と使用食品のコードと重量を入力すると栄養計算される。次に料理の種類「1.ごはん・めん・パン」「2.おかず・汁物」「3.おやつ・デザート・飲物」を指定すると、2の場合は①動物性②動植物性③植物性料理に自動的に分類される。調理操作などを示す次の2桁を手入力すると、さらに主材料分類2桁が自動的に設定され、料理が登録される。検索は「1.料理内容」「2.食品」「3.料理名」から行うことができ、各々1つの検索画面で、種類や分類、名前、栄養価などを一度に指定することによって、目的の料理が絞り込まれる。料理を選択すると、材料や栄養価が画面やプリンターに出力される。さらに検索した料理を組み合わせでメニューを作成したり、メニューを組み合わせで献立を作成することも可能である。今回料理データベースとして580品目の登録を行った。